

# 特殊詐欺 3 倍増・手口が多様化

## 9月の防犯対策

令和5年9月1日発行  
 (公社)滋賀県防犯協会

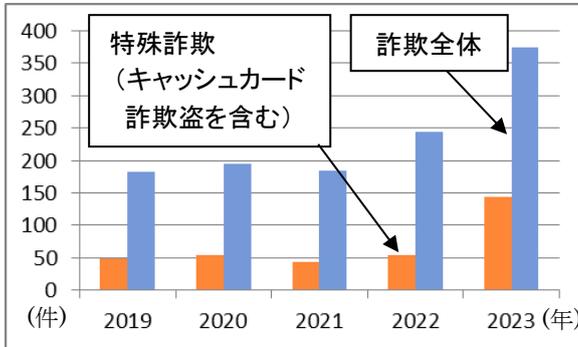


「オレオレ詐欺」に代表される特殊詐欺の手口が多様化し、県内での詐欺事件の発生件数が大幅に押し上げられています。

### ●特殊詐欺が3倍増

次のグラフは、5年間の上半期における詐欺事件全体数と特殊詐欺の件数を表したものです。1～6月の上半期と比較すると、詐欺事件の全体数は、2019年上半期182件でしたが、

県内の詐欺被害件数（1～6月）



### ●特殊詐欺の手口が多様化

特殊詐欺は、主に不特定多数を狙って電話等で対面せずに相手をだまし金銭等をだまし

取る詐欺手法を指しますが、手口については、非常に多様化しています。

○警察官、銀行協会職員、役所の職員等を名乗り、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る「**預貯金詐欺**」

○親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る「**オレオレ詐欺**」

○未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る「**架空料金請求詐欺**」

○税金還付等に必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、犯人の口座に現金を振り込ませる「**還付金詐欺**」

○実際は融資しないのに簡単に融資が受けられると持ちかけ、これを信じて融資を申し込んで来た者に対し、「保証金が必要」「返済の信用実績が必要」などと言って金銭等をだまし取る「**融資保証金詐欺**」

○架空、または価値の乏しい未公開株や高価な物品について嘘の情報を提供し、購入すれば儲けると信じさせて、その購入代金として金銭等をだまし取る「**金融商品詐欺**」

○公営ギャンブルの必勝法、宝くじの当選番号を教えると雑誌、インターネット、電話等で持ちかけ、その情報で当選金等が得られると信じ込ませて情報料や会員登録料として金銭をだまし取る「**ギャンブル詐欺**」

○「交際相手を紹介」等と雑誌に掲載したり、メールを送りつけ、相手の紹介を申し込んできた人に会員登録料や保証金として金銭等をだまし取る「**交際あっせん詐欺**」

○警察官などと偽って電話をかけ、キャッシュカードの不正利用や口座を保護する手続きなど嘘の話をした上で訪問し、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る「**キャッシュカード詐欺盗**」

などがあり、特に増加傾向にあるのが、**架空料金請求**

求詐欺の一つの「**サポート詐欺**」です。パソコン操作中にウイルス感染を知らせる表示があり、電話をかけるサポート料金の名目で金を請求される手口です。このほか、自動音声による電気料金未納名目の不審電話が相次いでいます。

電話に出ると

- ・電気料金が未納です
- ・数時間後に停電になる
- ・詳細はプッシュボタン

1番を押して下さいが流れ、1番を押すと人間に代わって最終的にキャッシュカードをだまし取るうとします。

常に疑う気持ちを持って

待つて! 電話に出たらアカン!!



### ●詐欺対策のポイント

- 詐欺に騙されないための基本は、「1人で判断しない。不安を感じたらすぐ警察や家族に相談すること」です。そして、絶対に
- あやしい電話に出ない (留守番電話、優良防犯電話、NTTサービスの利用)
  - キャッシュカードを渡さない。暗証番号を教えない
  - 心当たりのないメールに返信しない
  - 突然パソコンに警告画面が表示されたり警告音が鳴っても画面に表示された電話番号に連絡しない
  - 出会ったこともない人にお金を送らない
  - ネットでの買物は注文確定前にもう一度確認する

※記事へのお問い合わせは、滋賀県防犯協会事務局 ☎077-525-6529 までお願いします。